令和4年度第7回薬事・食品衛生審議会薬事分科会化学物質安全対策部会化学物質調査会、令和4年度化学物質審議会第3回安全対策部会、第229回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会

令和4年11月18日

資料4-5 (審議会後確定版)

1 2

# PRTR 排出量による暴露クラスの見直し

3

### 1 PRTR 排出量による暴露クラスの見直し方法

- 5 化審法の優先度マトリックスの優先度が「中」又は「低」に区分された物質のうち、『物質範囲
- 6 が、PRTR の政令物質と化審法の届出対象とで同じもの』について、PRTR 排出量を用いて暴露クラ
- 7 スを付与し、化審法届出情報に基づく暴露クラスと比較をし、PRTR 排出量による暴露クラスの方
- 8 が、より排出量の多い暴露クラスとなる物質を抽出した。なお、PRTR 排出量は、PRTR 届出排出量
- 9 に加え届出外排出量も合算して暴露クラスを求めた(資料2-1参考参照)。PRTR 届出外排出量の
- 10 排出先媒体(大気・水域)は、「PRTR 届出外排出量の推計方法の詳細資料」」を基に同定した。

11

- 12 暴露クラスとして使用したデータは以下のとおり。
- 13 ○化審法届出暴露クラス
- 14 ・令和2年度実績の優先評価化学物質の製造・出荷量情報に基づく推計排出量から設定した暴露
- 15 クラス
- 16 ○PRTR 暴露クラス(届出・届出外)
- 17 ・ 令和 2 年度の PRTR の届出及び届出外排出量(人健康では大気+水域、生態影響では水域排出量)

18 19

#### 2 結果

- 20 PRTR 排出量による暴露クラスの見直しを行い、人健康影響用暴露クラスにおける見直し結果
- 21 を図表1に、生態影響用暴露クラスにおける見直し結果を図表2に示した。見直した結果、PRTR
- 22 排出量による暴露クラスが化審法届出情報に基づく暴露クラスを上回った物質は人健康影響及び
- 23 生態影響において各1物質あったが、優先度「高」となる物質はなかった。

\_

<sup>&</sup>lt;sup>1</sup> PRTR インフォメーション広場 令和 2 年度届出外排出量の推計方法の詳細 https://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/todokedegaiR02/syosai.html

## 図表 1 PRTR 排出量による暴露クラスの見直し(優先評価化学物質の(片側優先)※の人健康影響用暴露クラス)

PRTR番号	物質名称	CAS No	優先指定 の観点	詳細リスク評価状況	優先番号	生分解性	有害性クラス	化審法届出		PRTR届出·届出外(大気+水域)					PRTR届出(大気+水域)			
									暴露クラス	優先度	暴露クラス		届出·届出外排出量[t/y]  届出外排出量[t/y]		優先度	暴露クラス	排出量	
													合計 (大気+水域)	大気	水域	及儿文	No Et a 200	[t/y]
210	2, 2ージブロモー2ーシアノアセトアミド	10222-01-2	生態	評価Ⅱ(生態)	182	難	3	低	5	中	4	30	1.8	0.1未満	1.8	中	4	28

<sup>※</sup>生態の観点で優先指定済みだが、人健康の観点では優先相当となっていない(片側優先)

## 図表 2 PRTR 排出量による暴露クラスの見直し(優先評価化学物質の(片側優先)※の生態影響用暴露クラス)

PRTR番号	### ØF Ø 74*	CAS No		詳細リスク評	優先番号	<b>什 八岛7</b> 州	有害性クラ	化審法届出		PRTR届出·届出外(水域)				PRTR届出(水域)			
	7代1代金万	物質名称	CAS No	の観点	価状況		生分解性	ス	優先度	暴露クラス	優先度	暴露クラス		出外排出量(水域)[t/y] 届出外排出量(水域)[t/y]	優先度	暴露クラス	届出排出量 [t/y]
	12	アセトアルデヒド	75-07-0	人	評価 I (人)	26	良	3	低	5	中	4	17	0.1未満	中	4	17

<sup>※</sup>人健康の観点で優先指定済みだが、生態の観点では優先相当となっていない(片側優先)